

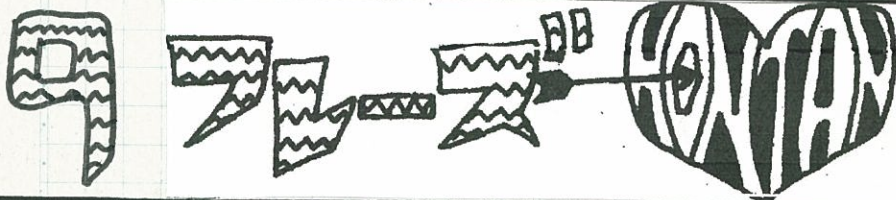
# HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第32号  
 旬の図書館情報をお知らせします

2012年10月1日号



ドンドンな情報が  
 いっぱい!



今回の9フレーズ、テーマは  
**「衝撃の一言！」**  
 というわけでHONTANメンバーに  
 YouはShock!なセリフを集めてもら  
 いました。

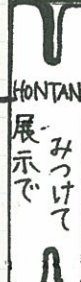
カノンの 衝撃の一言 『ヘブン』 「驚愕と衝撃、圧倒的感動。 涙がとめどなく流れるー。」 善悪の根源を問う作品である。	川上未映子 913.6/K 『ヘブン』	あぎの 衝撃の一言 『偽物語(上)』 「愛? それ、こないだコンビニ で売ってました。298円で」 幽霊で迷子な小学生の女の子の一言。	西尾維新 913.6/N 『偽物語(上)』	とおかの 衝撃の一言 『333のテッペン』 「お客様を何だと思ってるんだ」 「ただの神様だろ」 東京タワー(殺人事件発生)の1階のコンビニにて。	佐藤友哉 913.6/S 『333のテッペン』
空の 衝撃の一言 『砂漠』 「目の前で困ってる人がいれば ばんばん助けりゃいいんですよ」 理屈なんて関係ねえ!	伊坂幸太郎 913.6/I 『砂漠』	七味の 衝撃の一言 『R.P.G.』 「彼らは本物じゃないよ」と、 武上は言った。「あれもお芝居だよ」 最後の10ページでどんでん返しを食いました。	宮部みゆき 913.6/M 『R.P.G.』	さのこの 衝撃の一言 『聖家族のランチ』 「これを皆で食べましょうよ」 死体を目の前にして。 完璧に思えた家族の崩壊の物語。	林真理子 913.6/H 『聖家族のランチ』
なのかの 衝撃の一言 『ばかりや』 「前ではなくて、次だったか」 女から好かれすぎても 好かれなさすぎても厄介。	乾ルカ 913.6/I 『ばかりや』	のずみの 衝撃の一言 『ねじまき鳥クロニクル』 「私はここで死なないのではなくて、 ここで死ねなかったのです」 彼は生きる希望を失った。	村上春樹 913.6/M-I 『ねじまき鳥クロニクル』	Y田の 衝撃の一言 『重カピエロ』 「楽しそうに生きていれば、 地球の重力なんてなくなる」 どんな困難も、必ず乗り越えられる。	伊坂幸太郎 913.6/I 『重カピエロ』

HONTANが送る  
 横山館長さん情報

## 宏太通信



館長さんの思う本の魅力は、語彙力や表現力を鍛えられることだそう。  
 学生の方は、若いうちから書に親しんで損はありませんよ!



### 特別記念展示紹介

今年北星学園大

学は開校50周年を迎え、10月13日(土)には記念式典が行われます。それに伴い図書館内でも「母校を知る—50周年の歩み—」と題しまして写真を展示しております。ぜひともご覧ください! (珠)



### 辻村深月を読み始めるなら⇒凍りのくじら 913.6/T

今年の7月に『鍵のない夢を見る』で第147回直木賞を受賞した辻村深月さん。辻村さんの『凍りのくじら』という作品は、他人をSF(少し・○○○)とあてはめる少女が主人公です。また、各章のサブタイトルに、ドラえもんのみんツ道具を使っています。そのため、親近感をもって物語に入り込むことができます。

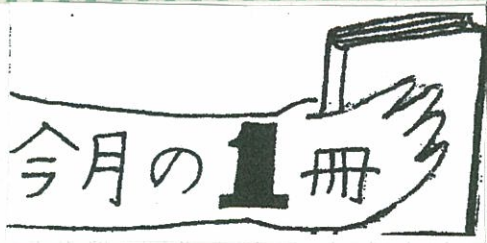
また、辻村さんの小説の登場人物は、他の作品に何らかの関係を持って登場してきますので、他の作品も読んでみるととてもおもしろいと思います。ぜひ読んでみて、辻村ワールドへどっぷり浸かってみてくださいね! (あんこ)



### 星学祭に参加します!

今月の7日、8日に行われる学校祭でHONTANも出店します!

焼きドーナツと雑貨の販売と、過去のポスター展示を行いますので、お時間よろしければぜひぜひお立ち寄りくださいませ!



### 「MOMENT」本多孝好 913.6/H

大学生の「僕」が清掃員のアルバイトをしている病院には噂があった。それは、死を間近にした患者の願いを一つだけかなえてくれる黒衣の男がいる、という必殺仕事人伝説。

「僕」はある老女の願いをかなえることで伝説を受け継ぎ、いつしか黒衣の男は灰色の作業着の清掃員に姿を変えていた。

死を間近にした人が最後に願う事、それは華々しいものばかりではない。「人間は最後に何を考えると  
思う？」投げかけられた言葉を胸に、「僕」は患者の最後の望みを叶えるため奔走する。

自分の人生の終わりに誰を想い、何を願うのか。そんな事を考えさせられる小説です。 (伊之上)

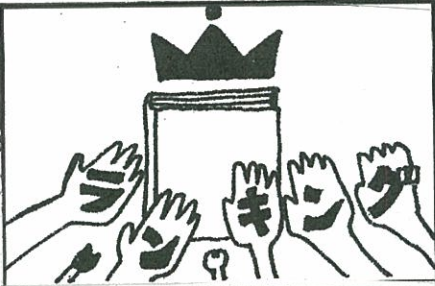


笑の大学  
778.72/W  
「笑いのない喜劇を作  
ってください」  
昭和15年、戦争目前。

不謹慎であると「笑」にも検閲がかけられてしま  
う時代。

「笑」をこよなく愛す演劇家と、今まで「笑」  
ったことがない検閲官。

相容れない二人が出会ってしまった。  
最後の20分間から繰り広げられる三谷ワールド。  
この喜劇を、ただの面白い喜劇では終わらせませ  
ん。(きょう)



今回は2012年  
上半期貸出件数  
ランキングです!  
有川浩、東野圭吾は  
相変わらず人気です。

1	県庁おもてなし課	有川浩	11回
1	境遇	湊かなえ	11回
1	ヒア・カムズ・ザ・サン	有川浩	11回
1	プラチナデータ	東野圭吾	11回
2	麒麟の翼	東野圭吾	10回
2	ジェノサイド	高野和明	10回

## コラム 傘の本探力

「少し昔は……」

少し昔にあったものが今はだいぶ少なくなっ  
てしまったような気がします。僕の身近にないだ  
けなのかもしれませんが、確実になくなってきて  
います。石焼いも、古紙回収、さおだけ屋と少し  
昔は車が走っていたような気がします。今はあま  
り見ません。人のニーズが変われば、少なくなっ  
てしまうものが出てくるのは仕方ないことで  
す。まちの風景も変化するのは当然です。しかし、  
伝統あるものがなくなるというのも悲しいもの  
です。

山田真哉著「さおだけ屋はなぜ潰れないのか?」  
336.9/Y (光文社新書)



ブレーン  
OCTOBER 2012  
Vol. 627

『過去に学び、未  
来に生かすコピー

ライティング』という特集において、私たちの世界  
をより輝かせてくれる、様々なクリエイターたちが  
登場します。

そんなクリエイターたちは、どのような本に影響さ  
れ、心動かされてきたのでしょうか。

ここで紹介されている本には、何かを“クリエイト”  
するヒントが隠されているのかもしれませんが。

(きょう)



### 編集後記

長かった夏もようやく過ぎ去り、秋がやってきました。読書、食欲、スポーツ、芸術、色々  
ありますが、皆さんは何の秋を思い浮かべますか?

北海道の秋は思っているよりも短いので、存分に楽しみたいものですね。(珠)